

本調査研究の概要

公共交通の路線、時刻表、料金やリアルタイム運行情報といったモビリティデータのICTの進展に伴い、これらデータを活用した交通サービス改善や新たな取組について、欧州3か国（英国、オーストリア、フィンランド）の先進事例を調査

結果概要

モビリティデータ活用に関する政策、法規制および施策

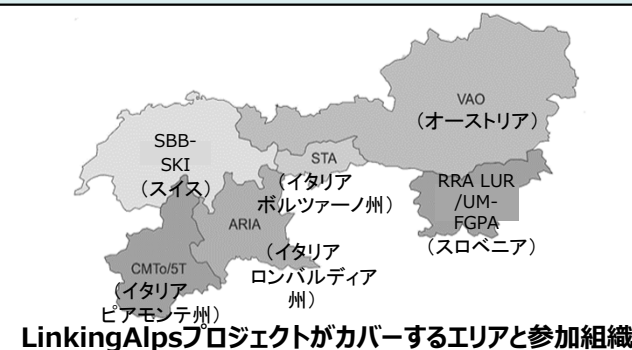
国家間の自由な移動を保証する欧州単一輸送圏実現に向けて、データ標準化の推進など、交通データに関する相互運用性を確保するための制度設計が進展している。

例：EU ITS指令と関連する委任規則をはじめとする法改正、データの相互運用性向上や各国National Access Point (NAP) の連携

異なる交通アプリを連携させる場合のシステム設計

国家間を跨ぐデータやアプリの連携において、各国のデータを統合することなく、ルート検索ができるような分散型システムの設計が行われている。

例：オーストリア主導によるLinkingAlpsプロジェクトにおける、EU ITS指令や関連規則で定義された「分散型旅程計画」というAPIを使った手法で構築されるルートプランナーサービス



オープンデータへの取組

法的に交通データのオープン化が図られ、再利用可能な制度設計がされている。特に、既存および将来のモビリティデータベースからのデータへのアクセス、データの蓄積、共有を促進する「モビリティデータスペース」の開発が行われている。

例：ロンドン交通局における、リアルタイムデータ（地下鉄発着情報、道路交通渋滞情報、バス到着情報）や静的データ（時刻表、駅の場所や駅の施設情報）等の交通関連データの一般に利用可能な形での公開

ロンドン交通局が提供するデータコンテンツ (抜粋)

分野	主要なデータ
一般	駅位置/設備、経路検索(API、時刻表)
地下鉄	地下鉄の発着案内、路線・駅状況等
バス(路線、長距離、水上)	バスのリアルタイム到着API、バス停の位置とルート等
道路	橋、トンネル及び道路の支障、高さ制限、渋滞税、低排出/超低排出ガス区域の境界線 リアルタイム交通障害
サイクリング	サイクリングインフラストラクチャデータベース サイクリングルート、レンタサイクルトリップデータ
徒歩	中心部の隣接する駅間の徒歩所要時間 徒歩移動の方が早いロンドン中心部の所要時間
Oyster Card	Oysterチケット売り場の場所
アクセシビリティ	バリアフリーアクセスとトイレのデータ
ネットワーク統計	電車と駅の混雑時間帯、地下鉄の乗客数データ